



URL : <http://www.cybird.co.jp/investor/>

平成 16 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社サイバード
代表者名 代表取締役社長 堀 主知口パート
(登録銘柄・コード番号 4823)
問合せ先 取締役副社長 吉川 友貞
(TEL . 03 - 5785 - 6110)

中間業績見通し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 3 月期中間会計期間の売上高、経常利益及び中間純利益の見込みが前中間会計期間の実績値と比較して、差異が生じる見込みとなり、あわせて当社が平成 16 年 5 月 25 日に公表した平成 17 年 3 月期通期の業績予想を修正いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は当中間会計期間に対する業績予想は公表しておりません。

記

1. 当中間期の業績見通し

連結業績の見通し(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前中間期決算実績値(A)	4,977	27	60
当中間期見通し(B)	6,170	237	1,037
増 減 額(B-A)	1,193	209	1,097
増 減 率(%)	24.0%	758.1%	-

(金額の単位:百万円)

単独業績の見通し(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前中間期決算実績値(A)	4,412	53	106
当中間期見通し(B)	5,430	210	997
増 減 額(B-A)	1,018	263	1,104
増 減 率(%)	23.1%	-	-

(金額の単位：百万円)

2. 通期業績予想の修正

当期の連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,500	700	350
今回修正予想(B)	12,500	700	1,250
増減額(B-A)	0	0	900
増減率(%)	-	-	257.1%
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	10,713	596	199

(金額の単位：百万円)

当期の単独業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,500	500	300
今回修正予想(B)	10,500	500	1,200
増減額(B-A)	0	0	900
増減率(%)	-	-	300.0%
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	9,491	449	71

(金額の単位：百万円)

3. 平成17年3月期中間会計期間の概況

当中間会計期間における当社連結業績につきましては、売上高は、モバイル・コンテンツ事業、マーケティング・ソリューション事業、及び技術関連事業の順調な伸長により、6,170百万円と対前年同期比で1,193百万円増(24.0%増)となり、中間期ベースで過去最高となる見込みです。また経常利益は、237百万円と対前年同期比で209百万円増(758.1%増)となり、中間純利益においては、当社所有のK L a b株式会社()株式の一部譲渡に伴う売却益計上があったことから1,037百万円と対前年同期比で1,097百万円増(前年同期は損失計上)の大幅な増益となる見込みです。

なお、これまで連結子会社であったK L a b株式会社につきましては、平成16年9月28日付にて株式会社有線ブロードネットワークスに当社所有株式の一部譲渡を行なったことから、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社へと異動しております。ただし、平成16年4月1日から平成16年9月30日(みなし売却日)までのK L a b株式会社の損益計算書につきましては、連結の対象としております。

()株式会社ケイ・ラボラトリーは平成16年11月1日付でK L a b株式会社(読み方：クラブかぶしがいいしゃ)に商号変更しております。

4. 平成 17 年 3 月期通期業績予想の修正の理由

当中間期に、これまで連結子会社であった K L a b 株式会社の当社所有株式 2,372 株を株式会社有線ブロードネットワークスに対し 1,660 百万円で譲渡し、また、平成 16 年 10 月 29 日付にて 415 株を再度同社に対して 290 百万円で譲渡しております。これらの取引により、当期に約 18 億円の関係会社株式売却益が発生することから、当期純利益について連結、単独とも当初予想を大幅に上回る見通しとなり、当期業績予想の修正を行なうものであります。一方で、K L a b 株式会社が持分法適用関連会社へ異動したことによる通期での連結業績への影響はあるものの、既存事業の一層の推進に加え、当中間期より新たに連結子会社となった株式会社 C & T モバイルサポートの下半期からの売上計上や、新規事業を含めた新たな戦略により売上高、経常利益とも当初の予想を達成できるものと考えております。

< 業績予想に関する注意事項 >

この資料に記載されております業績予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上